

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所：オリーブ

実施期間：令和6年3月1日～3月15日

評価結果公表日：令和6年4月10日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・日によっては時間差で活動を行ったり、室内外に分けて活動して工夫している。 ・もう少し広いと行動しやすい。 ・体調不良の子がいるときは職員の部屋で休めるようにしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・正社員5名は適切。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・階段は大変な児童もいる。 ・賃貸物件のため階段の改善はできないが、安全に昇り降りできるよう配慮している。 ・事業所に来るまでには階段があるが手すりがあり安全面で配慮されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか ※PDCAサイクルとは Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)で構成される一連の過程のこと	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・チームで話し合いの場を設けてより良い方向となるよう計画から改善を遂行している。 ・企画の立ち上げなど、何の目的で行うか、設定を職員同士で確認し、終了後には改善点等参画した職員全員で話し合いをする時間を設けている。 ・計画に基づき実践し、検証改善サイクルされている。 ・8時間も勤務体制になり、より一層計画や評価、改善に時間をかけられるようになり充実している。 ・事業所で企画を行う際は、チーム内でしっかりと目的やスケジュール等を考えて安全に子どもたちが楽しく行えたか改善策や振り返りを行って使用者へのサービス向上に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・職員会やチームで共有している又、課題があれば改善できるようにしている。 ・改めることがあればきちんと改善して充実した支援、またはより良い事業所となるよう

					心掛けている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで閲覧できるため保護者の方の意見も学ぶことができる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	6	・第三者による外部評価は実施していない。 ・より良い事業所になるようにも今後、外部評価も行っていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・全体学習会や必要な研修、希望する研修に参加している。 ・いろいろな研修会に参加できるように配慮がされている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・利用者一人ひとりにあったサービスを計画している。 ・アセスメントは課題意識をもって聞き取りをしており、課題解決に向けて具体的に計画を作成している。 ・支援会議・モニタリングを行うことで保護者のニーズを知り成長に合わせたサービス計画がされている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			・職員全体で共有していくために取り入れている。 ・成長に合わせたアセスメントツール表が活用されるとさらに良い。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・毎週、週案を皆で話し合いながら作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・様々な活動を取り入れている。(静と動、室内・室外など) ・曜日で主活動が決まっているが、いろんな活動ができるよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			・休日や長期休みでは、平日ではできないこと等をじっくりと取り組めるよう考えている。 ・活動時間に応じて、より充実した支援が行えるよう考えている。 ・季節の行事を組み込みながら変化を持たせた活動、療育を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・一人ひとりに合わせた支援を充実するとともに集団での活動への参加も大切にしている。

					<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓の活動など、大きな音が苦手な児童もいるため、その際には別の活動を行ったりなど違う形で取り組みをしている。 ・適切な支援を行うため子どもの状況を見極め作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・前日や当日に確認しあっている。(ホワイトボードであったり、紙ベースでの分担表であったり) ・業務や役目の負担を一人ではなく複数人で共有する。 ・送迎、活動内容、変更等の確認や相談を行っている。 ・送迎の役割の確認は取れている。 ・特別なイベントの以外でも、その日の支援の内容の打ち合わせパートも含めてもう少しできると良い。 ・時間差で出勤してくる職員にも申し送りをするようにしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子の伝え合いはしているが、支援の振り返りを行うことがなかなかできず課題。 ・送迎の関係で退勤時間まで十分な時間がないこともあり、必ず打ち合わせができるとは限らないが努力はしている。 ・気づいた児童の様子や変更事項、津語の日の活動の確認を行っている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・細かく記録されている。 ・他の職員の記録にも目を通して子どもの理解を深められるようにしている。 ・職員間で子どもの状況をきちんと把握するためにも記録は重要と認識している。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングは定期開催している。大幅な利用日数の変更が生じれば、都度見直しを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・インクルージョンの実現に向けた地域交流活動や近隣の児童との交流を年間計画に盛り込んで実施している。 ・親の就労支援にも積極的に取り組んで

						いる。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			・児発管や主任クラスの指導員が会議に必ず参加する事としている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			・学校にも会報(りんご通信)を配布し事業所の様子を知っていただいている。 ・学校支援会議や、当事業所主催の打ち合わせ会議など必要に応じて開催して、情報共有に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	5	・現在、対象児はいない、受け入れをしていない。 ・医療的ケア児が現時点でいないため受け入れる場合は体制を整えていく。 ・現在、医療的ケア児は居ないが受け入れる場合は体制を整えたい。 ・今は対象となる児はいないが、想定して対策は講じている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			・一年生に関しては利用開始前に情報を共有させていただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	5	・現在、対象児はいない ・対象となる卒業生がいらない。成長に合わせた放デイに移動する際は保護者の同意を得て情報共有を行っている。 ・オリーブでは対象児はいないが、移行時は情報共有していくことが大切であると考え情報提供をする。 ・オリーブには卒業生がいらないが、これから先移行等がある際は情報提供をしていく。 ・対象児はいないため、そのような案件はない。該当ケースがある場合は情報をきちんと伝える。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			・圏域の児童発達支援センターとの情報連携は必要に応じて実施している。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8			・地域の児童クラブと交流を行っている。 ・今年度、初めて児童クラブとの交流が実現できた。 ・ヨガ、カレー作り、クリスマス会を一緒に行った。	

					<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの子ども達とクリスマス会を通して交流したりなど、健常の子どもと活動する機会をこれからも継続していきたい。 ・コロナ時期より交流ができてお互い良い勉強になった。 ・長期休みなどに児童クラブと一緒にイベントを楽しむ計画を行っている。
	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の自立支援協議会こども部会等への積極的な参加を行っている。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、チームで共有している。 ・送迎の際に、その日の様子を簡単に説明したり連絡帳で情報を伝え合ったりしている。 ・送迎時や連絡帳を活用して今の子ども様子を共有できるよう努力している。 ・児童の受け入れ、送迎のとき、保護者会にて伝えている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・年6回行っている。 ・新入所児の保護者にはペアレントトレーニングの必要性を伝え、お誘いしている。 ・保護者の参加に加え、職員も参加し勉強ができた。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定や重要事項説明書を活用して、面談の機会を頂き、丁寧に説明している。支援内容に伴う加算算定の説明もきちんと実施している。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の迎えの時に時々、相談に応じ話を聞くことができる。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会はないが、保護者会後に保護者同士が交流する時間を設けている。 ・保護者会の場で保護者の皆さん同士のつながりを支援している。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	8			・何か起きた時はパートを含む職員にも情報共有してもらえるとありがたい。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・りんご通信を毎月発行している。活動の様子や翌月の予定のお知らせをしている。 ・職員にもりんご通信を配布してくれるため、他事業所の様子も理解、把握できる。 ・りんご通信で活動の様子を写真入りで知らせており、保護者からも好評。 ・りんご通信を発行して伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			・同意書取得に努めている。 ・取材対応が入る際には、個別に同意を得るようにしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・難聴の児童にはマカトンサインやジェスチャーなどでコミュニケーションをとれるよう工夫している。 ・各保護者に合わせた対応をできる限り心掛けている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8			・ガレージコンサートや人形劇等に地域の方々を招待している。 ・ハロウィン企画の際には地域の方々にも協力していただいたりなどしており、地域との繋がりを大切にしていきたい。 ・ハロウィンの際には商店街の方々に協力していただいている。又、プランター設置後は水やり等の協力もしていただいている。 人形劇や演奏会などを開催して地域の皆様にも楽しんでいただいている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			・年に一度パートを含む全職員で確認をとれると良い。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・年3回行っている。 ・定期的にきちんと訓練できて確認になる。 ・年間3回は避難訓練を実施している。

					<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごと最低1回は災害に対する訓練を行っている。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、職員会後に防止委員会をおこなっている。 ・月一回の職員会の後で虐待防止委員会を開き、事例検討などしている。 ・必ず月一回研修時間を設けている。 ・毎月行われる職員会後にて委員会が開催されている。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない身体拘束が考えられる児童が現時点ではない為、今後を想定して、虐待防止委員会と身体拘束等適正化委員会において、対応マニュアルを確認したり、書式の内容を確認して有事に備えている。」
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭より、除去食品について伝えてもらっているので対応できている。 ・指示書のある対象児はいないが、除去食を行う児童については保護者の方に都度確認を行っている。 ・調理などの企画に際にはアレルギー児の保護者の方に十分に確認を取り対応している。 ・医師の指示書が示されていない児には保護者への聞き取りにより対応している。 ・対象となる児がいいため、今後対象となるケースがあればきちんと対応していく。 ・医師からの指示書されていないが保護者と細かく情報交換や確認をして対応している。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを読むたびにヒヤリハットして良いと思います。 ・同じようなことがないようにきちんと共有し意識を高めている。